

## ☆ 神田・中山地区は古墳の宝庫

弘法山古墳の令和2年度の発掘調査が終わり様々な発見がありました。

あわせて周りの古墳についても下調べが行われました。

松本市教育委員会より頂いた資料を元に町会の皆様に関心を持っていただきたく照会します。



調査員による地道な調査

に土を突き固めて築造された非常に丁寧な造りであることが分かりました。

その後昭和57年には史跡公園として整備されました。

この古墳整備事業は

①赤色立体地図の作成 ②関連古墳群調査 ③古墳の形態・規模などの確認など引き続き行われます。  
また、周辺調査から小さな古墳が沢山あることも分かりました。

弘法山古墳は明治以降畑地になっていたこと、第二次世界大戦の末期に高射機関場が据え付けられていたことなどから、大半が破壊されてしまったと認識されていました。

昭和49年の発掘調査で東日本最古級にあたる3世紀末に築造された前方後円墳であることが判明し、昭和51年に国史跡に指定されました。

今回の調査の結果、裾部の地山を削って整形した後



盛土から出土した黒曜石



出土した石器

